

地域に視点をあてた事業展開 [高年]

ホームと地域をつなぐ交流会の開催によりこれからの介護や福祉について地域一体となって考える

誰もが加齢に伴う体調不良や病気を予防し、何時までも自宅で安心して暮らしていきたいと願っている。そこで、地域の方と共に健康について考え、行動するための情報提供や提案ができれば元気な街づくりのお手伝いができるのではないかと考え、地域住民向けの研修会を毎年開催している。

大阪府

社会福祉法人 聖徳園

〒573-0084 大阪府枚方市香里ヶ丘3-15-1

TEL：072-854-5826 FAX：072-852-7105

◇法人設立日

昭和42年

◇法人実施事業

①経営施設（事業）数：52事業

②経営施設・事業の種類：

養護老人ホーム…1、特別養護老人ホーム…3、ケアハウス…1、在宅介護サービス事業…29、小規模多機能型居宅介護…1、障害者支援施設…5、障害児・者通園施設…2、保育所…4、児童館…1、母子生活支援施設…1、診療所…1、他

◇法人の理念・経営方針

<理念>

～人々の期待に応え 高い信頼を得るために～
一、ヒューマニズムにたって 高度な専門性を持って人のためにつくします
一、子どもの輝く成長を願い 高齢者・障がい者の良質な生活を支えます
一、地域に目を向け 福祉の係わりを見つけ取り組みます

<経営方針>

常に業務の改善により前進します

◇取り組みを実施している施設の概要

【施設名】

ひらかた聖徳園

【施設種別及び利用定員】

特別養護老人ホーム 120名

◇活動内容

○活動開始年

平成18年10月

○活動の対象者

地域高齢者 利用者家族など

○活動の頻度・時間

年1回、半日

◇活動実施の背景、実施にいたった理由

枚方市は、人口約40万人で高齢化率は18.9%（平成21年時点）の都市である。市内の香里ヶ丘には、昭和33年に完成した郊外型大規模住宅団地である香里団地がある。平成10年頃からは敷地を広く占めていた古い低層団地の建て替えが進み高層住宅への移行が進んだことにより、団地の敷地に余裕が生まれた。そこで当施設は、平成18年にこの地に移転することとなった。

介護保険制度が実施される中、当法人の在宅介護サービス利用者の数も増える一方で、何とか介護度が上がらないようにする予防的な取り組みができないかと考えた。香里団地は周辺に集合住宅も多く、高齢化率が19.6%と高い地区であった。まずは自宅で安心して暮らしていただくことを目標に、地域の方と共に健康について考え、行動するための情報提供や提案をしていきたいと思い、毎年研修会を開催することとなった。

◇実施内容

平成18年は「いつまでも健康に暮らしたい」をテーマとして研修会を開催し、「老化や健康・運動について考える」と題した記念講演では、泌尿器科医師より排泄に関するお話をいただいた。また、ヨガの一日体験、骨密度測定、健康茶試飲会、福祉用品の展示販売、試供品（栄養補助食品）の提供などを行った。

平成19年は「がんと共に生きる」をテーマとして研修会を開催し、「病院での治療と在宅療養について」と題した病院医師、在宅支援診療所医師、訪問看護師、看取りを体験した家族によるシンポジウムを行った。他に、看護師による健康チェック、骨密度、体脂肪、ストレス度測定、理学療法士によるストレッチ体操を行った。

平成20年は「健康はお口から、生きることは食べること」をテーマとして、平成21年は「病気や薬のことについて考えよう」をテーマとして研修会を開催した。医師、管理栄養士、薬剤師、言語聴覚士、歯科衛生士など様々な専門職を

迎え講演や実技指導を提供した。同じ会場では、健康チェックと題して健康ナビゲーションをはじめ太極拳の体験なども行った。

毎年100名程度の参加者を集めている。

◇活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

参加者は女性が74%、男性26%、年齢は60歳代が38%、70歳代が46%で高齢者が8割程度を占めている。催しを知った経緯は、施設からの案内が31%、チラシが29%、ポスターが21%と近隣からの参加者が8割を占め、地域の方がたの要望に応える形で進めている。医療や病気、健康への関心が高く、また今後の介護についての興味もあり、75%が「また参加したい」、22%が「内容によって参加したい」とのことである。毎年測定して渡している健康チェック表（身長、体重、血圧、骨密度、脂肪率など）を持参される方も多く、健康への自己管理意識が高まっていることを実感している。

◇今後の展開

枚方市においても市民の健康と福祉に対する意識の高揚を図る目的で「健康・福祉フェスティバル」が毎年開催されているが、遠くて参加できない方や近隣での開催を望まれている方もいる。開かれた施設として近隣住民の理解と協力を得るためにも、継続して取り組んで行きたいと考える。平成22年は「丈夫な足腰で健康生活を守ろう」をテーマに開催し、整形外科医の講演と理学療法士の予防体操を行う予定である。



◇主な経費や財源及び人員等

※年間あたり

主な経費	経費概算額	主な財源	財源概算額
講師謝礼	60,000円	事業活動による収益	120,000円
ポスター・チラシ代	25,000円		
消耗品代	10,000円		
備品代	25,000円		
<合計>	120,000円	<合計>	120,000円

- ・ 取り組みにかかわった職員数 20名
（職種等：看護師、理学療法士、言語聴覚士、医師、管理栄養士、社会福祉士、介護福祉士、ケアマネジャー、等）